



日本の風景 「全国花火競技大会」

全国花火競技大会は、秋田県大仙市の雄物川河川敷運動公園において、例年8月最終土曜日に開催される花火大会。開催地である大仙市がかつて大曲市であったことから一般に「大曲の花火」として知られている。「日本三大花火大会」、かつ、「日本三大競技花火大会」の1つとされる。文・写真引用元: Wikipedia/写真AC

高知赤十字病院の理念

愛され、親しまれ、信頼される病院づくりを目指します。

高知赤十字病院基本方針

- 人道・公平・中立・奉仕の赤十字基本原則を遵守します。
- チーム医療を推進し、患者様中心の安全で良質な医療を提供します。
- 高度医療の推進と救急医療の充実を図ります。
- 地域医療機関との連携を推進し、地域医療レベルの向上に努めます。
- 教育・研修の推進と次代を担う医療従事者を育成します。
- 災害時における医療救護活動への積極的な参加と支援を行います。

受診される皆様へ

私たちは、受診される皆様の権利を尊重します

- 平等かつ適切な医療を受ける権利
- 個人の人権が尊重される権利
- プライバシーが保障される権利
- セカンドオピニオンを受ける権利
- 医療上の情報及び説明を受ける権利
- 医療行為を選択する権利

私たちからのお願い

- ご自身の健康に関する詳細な情報を医師をはじめとする医療提供者にお知らせください。
- 治療や検査等は、理解し、納得したうえでお受けください。分からないこと等は、ご遠慮なく医師をはじめとする医療提供者にお問い合わせください。
- 病院内では他人の迷惑にならないようお願いいたします。
- 暴言・暴力行為があった場合、診療をお断りすることがあります。
- 医療費の支払い請求には、速やかな対応をお願いいたします。
- その他、より快適な入院生活をお過ごしいただくために、病院内の約束事についてはご協力をお願いいたします。



令和4年度高知県総合防災訓練に参加して

高知赤十字病院 検査部 山崎 浩史

5月28日(土)、四万十市の四万十川河川敷にて、令和4年度高知県総合防災訓練が開催されました。南海トラフ地震対応を主とした、県を挙げての大規模な訓練で、消防、自衛隊、警察、海上保安庁はじめ多くの関係機関・組織が参加した訓練です。高知赤十字病院からは、救護班として1班(医師1名、看護師長1名、看護師2名、薬剤師1名、救護主事2名)が参加しました。当方の訓練内容は、「仮設医療救護所を開設、災害現場から救出された傷病者に対し、トリアージ^{※1} および医療救護を、大井田病院DMAT^{※2}(医師1名、看護師2名、業務調整員2名)と協力して実施し、仮想病院への搬送につなげる」というものでした。仮設医療救護所はdERU^{※3}と呼ばれる仮設診療テントを展開、その中に受付・指揮所や、簡易ベッド8床、模擬の医療資機材等を設置しました。傷病者役は看護専門学校生を主に、のべ60名の軽症〜重症傷病者役を演じていただき、感染対策に留意した上で模擬診療を行いました。救護所に搬送されて

きた模擬傷病者にトリアージを行い、診療を行ったのち傷病者情報を指揮所に集約し、病院への搬送優先順位を付けることが訓練のポイントとなります。しかし、傷病者数が多いため、傷病者情報が錯綜したり、なかなか指揮所に集まらなかつたりと、多数傷病者対応の困難さや問題点を実感しました。実災害の際には今回の経験や反省点を活かし、的確かつ迅速な多数傷病者対応につなげられればと存じます。南海トラフ地震の際は県下で3万人を超える負傷者が発生するとされているため、このような訓練は赤字のみならず、各地域の医療機関と関係機関等とで繰り返し行うようにしていくことも重要と考えられます。今後とも災害医療対策訓練にご理解・ご協力のほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

※1 トリアージ…重症度や緊急度に応じて、治療の優先順位を決定すること。

※2 DMAT…災害派遣医療チーム。医師、看護師、業務調整員で構成され、大規模災害や多数傷病者が発生した事

故などの現場に、急性期(概ね48時間以内)から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チーム。

※3 dERU…日本赤十字社が所有する、国内型緊急対応ユニット。エアテントや簡易ベッド、医療資機材等の仮設診療所設備と、それを運ぶトラック、救護員そしてそれらを円滑に運用するためのシステムの総称。1日1500人程度の軽症・中等症傷病者に対して3日間の治療を行うことを想定している。四国では当県と香川県に配備されている。



オンライン資格確認(顔認証付きカードリーダー)の導入について



当院では令和4年6月1日より、2階総合受付、1階救急外来受付、1階健康管理センターに設置の顔認証付きカードリーダーへマイナンバーカードを読み込ませることで、「健康保険証」や「限度額適用認定証」の健康保険の資格確認ができるようになりました。

ただし、健康保険証以外の指定難病受給者証、子ども医療証、ひとり親家庭等医療証、障害者医療証等は顔認証付きカードリーダーでの資格確認ができませんので、窓口での確認が別途必要になります。

また、マイナンバーカードを健康保険証としての利用に際しましては、事前に利用申込が必要になります。詳細につきましては、厚生労働省やマイナポータルホームページなどをご覧ください。

マイナンバーカードをお持ちでない方はこれまで通り、受付で健康保険証の確認をいたします。

顔認証付きカードリーダー設置場所

2階:総合受付①番 紹介窓口、③番 計算窓口

1階:救急外来受付、健康管理センター受付

*土・日・祝日・時間外は救急外来受付のみ利用可能です。



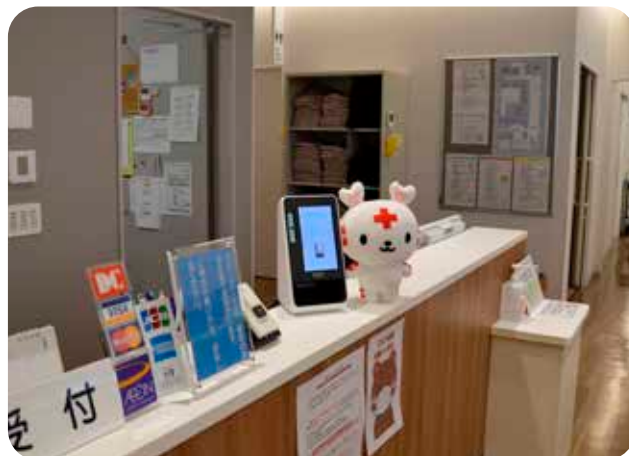
2階 総合受付③番 計算窓口



2階 総合受付①番 紹介窓口



1階 救急外来受付



1階 健康管理センター受付

災害に備えて非常食準備できていますか？

～ローリングストックで食べながら備える～

本格的な梅雨の季節になりました。近年、梅雨による災害は毎年のように発生しています。自分や家族の身を守るためには、事前の防災対策が重要です。避難場所・避難経路・避難方法について確認するのも大切ですが、ライフラインが止まった場合に備えて非常食を見直してみませんか。



「ローリングストック」とは、普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古い物から消費し、消費した分を買い足すこと。常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。（参照：農林水産省）

食料の備蓄例 ※3日分/大人2人の場合

- 水・・・2L×9本
- 副菜、果物・・・ビタミン、ミネラル、食物繊維
 - ・梅干し、漬け物、日持ちする野菜類
 - ・野菜ジュース
 - ・りんご、みかんなど日持ちする果物
 - ・果物の缶詰、ジュース、ドライフルーツなど
- 主食・・・エネルギー源
 - ・米450g(1人1食75g程度)
 - ・パックご飯×3パック
 - ・カップ麺類×3個
 - ・乾麺(うどん、そば、パスタ)
 - ・その他(シリアル・もちなど)
- 主菜・・・タンパク質
 - ・レトルト食品(牛丼の素やカレーの素)×7～8個
 - ・肉や魚などの缶詰×8～9個
 - ・パスタソースなど×2～3個
- その他
 - ・菓子類
 - ・調味料
 - ・インスタント味噌汁や即席スープ

※大規模災害発生時には『1週間分』の備蓄が望ましいとされています。
 ※乳幼児や高齢者、持病・アレルギーのある方はそれぞれの人に合った食品を最低2週間分、備蓄することが重要です。（参照：政府広報、農林水産省）

高知赤十字病院 駐車場ご利用案内

駐車料金

外来患者さまは、無料です。2階 総合受付計算窓口へ駐車券をご提示ください。
 上記以外の方は、60分までは無料、以降30分ごとに100円が加算されます。
 1日の上限額は、500円です。

【駐車料金が無料になる場合】

- ・入院日
- ・手術・検査でのご家族付添い
- ・小さなお子さまの付添い
- ・病院からの呼び出し(病状説明等)
- ・退院日

※上記の場合は無料となりますので、時間内は2階 総合受付計算窓口、時間外は救急外来受付にお申し出ください。



皆さまへよりよい情報提供ができる紙面づくりを目指しております。
 本誌に対するご意見やご要望などございましたら、高知赤十字病院医療事業・広報課までお寄せください。
 (088-822-1201 (代表))